

令和3年4月1日付け採用  
高知県公立学校教員採用候補者選考審査  
筆記審査（専門教養）

中学校 保健体育      高等学校 保健体育

受審番号		氏 名	
------	--	-----	--

【注意事項】

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答用紙（マークシート）は2枚あります。切り離さないでください。
- 3 解答用紙（マークシート）は、2枚それぞれに下記に従って記入してください。  
○ 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する○の枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。



- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。

また、併せて、右の例に従って、受審番号をマークしてください。

受 審 番 号				
万	千	百	十	一
1	2	3	4	5
○	○	○	○	○
●	○	○	○	○
○	●	○	○	○
○	○	●	○	○
○	○	○	●	○
○	○	○	○	●

記入例

(受審番号12345の場合)

- 4 解答は、解答用紙（マークシート）の解答欄をマークしてください。例えば、解答記号 ア と表示のある問いに対して b と解答する場合は、下の（例）のようにアの解答欄の b をマークしてください。

（例）

ア	a	●	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

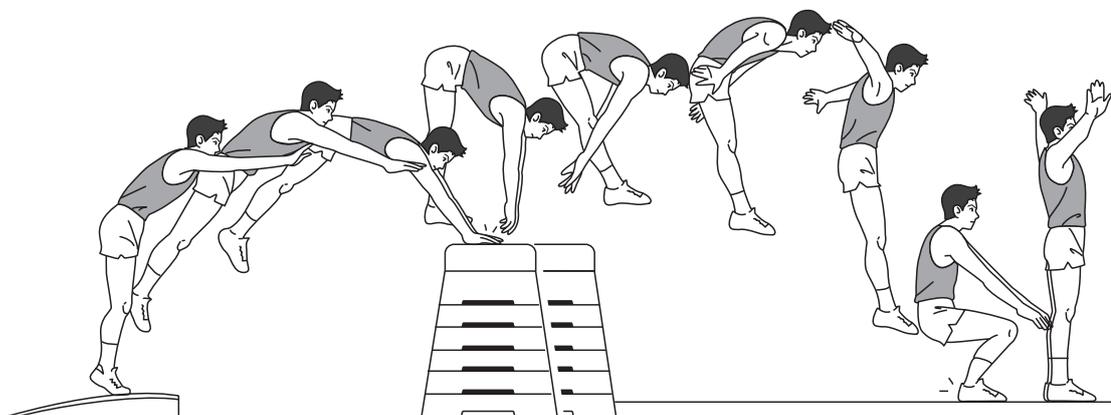
なお、一つの解答欄に対して、二つ以上マークしないでください。

- 5 選択問題は、受審する校種の問題についてマークしてください。
- 6 筆記審査（専門教養）が終了した後、解答用紙（マークシート）のみ回収します。監督者から指示があれば、この問題冊子を、各自、持ち帰ってください。



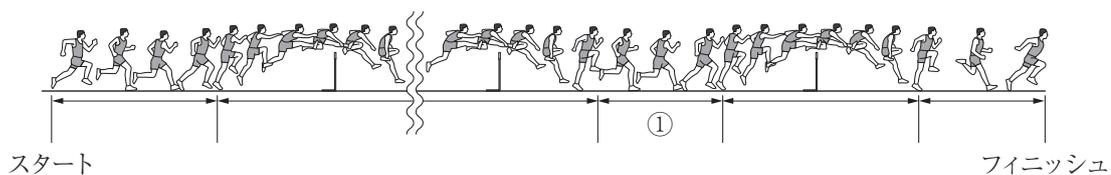
第1問 運動領域及び競技の用語に関して、次の1～8の問いに答えなさい。

- 1 次の図は、器械運動における跳び箱運動の技を模式的に示したものである。該当する技の名称を、下のa～eから一つ選びなさい。



- a かかえ込み跳び
- b 水平開脚伸身跳び
- c 頭はね跳び
- d 開脚跳び
- e 屈身跳び

- 2 次の図は、陸上競技のハードル走を模式的に示したものである。スタートからフィニッシュまでの間で  で区切った局面の①に該当する名称を、下のa～eから一つ選びなさい。



- a ハードリング
- b インターバル
- c ホップ
- d グライド
- e アプローチ

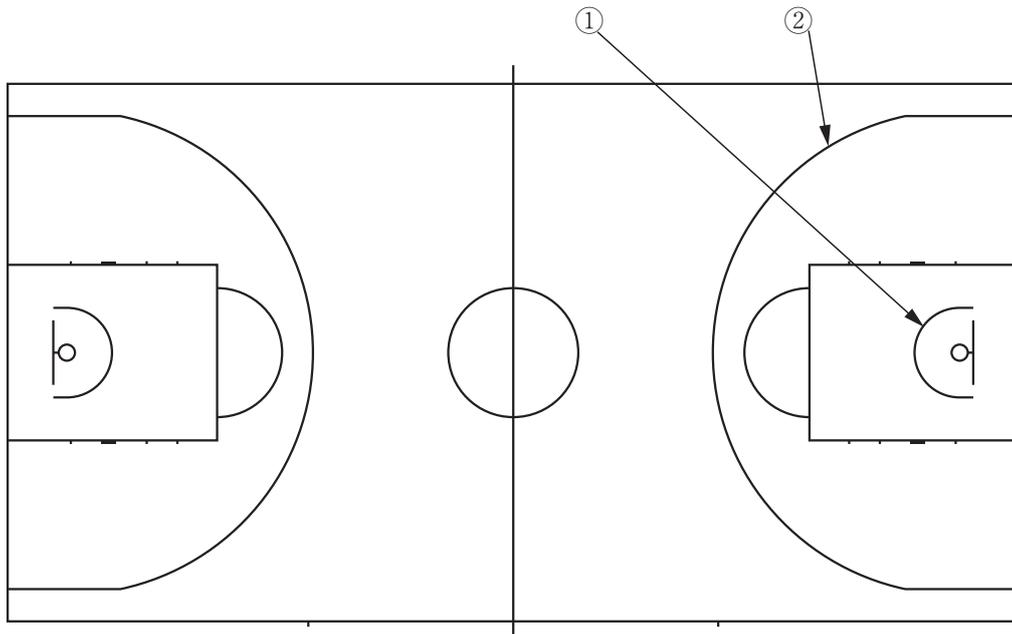
3 水泳において、水の抵抗が最も少なくなるよう、体全体を水平かつ一直線に伸ばした姿勢を何というか。次の a～e から一つ選びなさい。

- a ローリング
- b ハイエルポー
- c プル
- d ストリームライン
- e リカバリー

4 バドミントンにおいて、「ネットを越すと同時に急速にスピードが落ちてサービスライン手前に落下させる打ち方」を何というか。次の a～e から一つ選びなさい。

- a ヘアピン
- b スマッシュ
- c ドロップ
- d ハイクリアー
- e ドライブ

5 次の図は、バスケットボールのコートを模式的に示したものである。①・②に該当する名称の正しい組み合わせを、下の a～e から一つ選びなさい。



- |   |                |              |
|---|----------------|--------------|
| a | ① ペナルティアーク     | ② ゴールエリアライン  |
| b | ① ノーチャージセミサークル | ② スリーポイントライン |
| c | ① フリースローライン    | ② スリーポイントライン |
| d | ① ノーチャージセミサークル | ② ゴールエリアライン  |
| e | ① ペナルティアーク     | ② スリーポイントライン |

6 ソフトボールのゲームにおいて、「無死または一死で、走者が1・2塁か満塁のとき、内野手が通常の守備をすれば捕球できるフェアフライ」のことで、球審の宣告によって打者がアウトとなるものを何というか。次のa～eから一つ選びなさい。

- a ファウルフライ                      b フィルダースチョイス  
c インターフェアランス              d インフィールドフライ  
e オブストラクション

7 柔道の技において、「相手を右前すみに崩し、相手の右足首に左足裏で支え、腰の回転を効かせて投げる技」を何というか。次のa～eから一つ選びなさい。

- a 支え釣り込み足    b 膝車    c 体落とし    d 大腰    e 釣り込み腰

8 現代的なリズムのダンスにおいて、「タン<sup>1</sup> タン<sup>2</sup> タン<sup>3</sup> タン<sup>4</sup> タン<sup>5</sup> タン<sup>6</sup> タン<sup>7</sup> タン<sup>8</sup>」と後拍を強調するリズムを何というか。次のa～eから一つ選びなさい。

- a 休止や倍速    b アフタービート    c ユニゾン    d カノン  
e シンコペーション

第2問 競技に関するルールについて、次の1～8の問いに答えなさい。(なお、各競技種目の競技規則・ルールは令和2年5月1日現在のものとする。)

1 次の文は、陸上競技の「トラック競技」に関するルールについて述べたものである。正しくないものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a 100m競走と200m競走のスタートは、クラウチングスタートで行う。
- b 800m競走において、第1周目は各自のレーンを走り、その後のレーンはオープンになる。
- c ハードル競走は、足が外側にはみ出て、バーより低い位置を通ると失格となる。
- d リレー競技において、バトンはテークオーバーゾーン内で受け渡さなければならない。
- e スタートラインは、幅50mmの白いラインで示す。

2 次の文は、競泳競技に関するルールについて述べたものである。正しくないものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a 自由形においては、競技者がプールの底に立つことは失格とならないが、歩くことは許されない。
- b 背泳ぎにおいては、折り返しでは、その動作中に泳者の体の一部が自レーンの壁に触れなければならない。
- c 平泳ぎにおいては、ゴールタッチは水面の上もしくは下で、両手が同時に、かつ離れた状態で行わなければならない。
- d バタフライにおいては、スタート後は、壁から15mの地点までに頭は水面上に出ていなければならない。
- e 個人メドレーにおいては、「背泳ぎ→バタフライ→平泳ぎ→自由形」の順に泳ぐ。

- 3 次の文は、サッカーにおいて間接または直接フリーキックとなる反則に関するルールについて述べたものである。正しくないものを、次の a～e から一つ選びなさい。

ウ

- a オフサイドの際、間接フリーキックとなる。
- b ゴールキーパーがボールを放そうとしているときに、ゴールキーパーがボールを手から放す、キックする、またはキックしようと試みるのを妨げると間接フリーキックとなる。
- c 相手を手や体で押した際、間接フリーキックとなる。
- d 相手をつままずかせたり、つままずかせようとした際、直接フリーキックとなる。
- e ゴールキーパーが自分のペナルティエリア内で、ボールを放すまでに、手または腕で6秒を超えてコントロールすると、間接フリーキックとなる。

- 4 次の文は、卓球に関するルールについて述べたものである。正しくないものを、次の a～e から一つ選びなさい。

エ

- a サービスでは、ラケットを持っていない方の手のひらを開いてボールを乗せ、15cm以上回転を与えずに垂直に上げ、落下する途中で打つ。
- b サービスでは、サーバーまたはダブルスのパートナーの体の一部または着用している物で、ボールをレシーバーから隠してはならない。
- c ラケットを持たない手でテーブルの上面に触れた場合、相手が1ポイントを得る。
- d ラケットがネットに触れた場合、相手が1ポイントを得る。
- e ラケットを持つ手首から先の手に当たってリターンされても正規のリターンとなる。

- 5 次の文は、ハンドボールにおいてフリースローとなる反則について述べたものである。正しくないものを、次の a～e から一つ選びなさい。

オ

- a ゴールキーパーがプレーイングエリアにあるボールをゴールエリア内に持ち込んだとき
- b ダブルドリブルのとき
- c 味方のゴールキーパーにボールを投げ返し、そのボールにゴールキーパーが触れてボールがゴールに入らなかったとき
- d プッシングのとき
- e ゴールキーパー以外の防御側のプレーヤーが、防御するためにゴールエリア内に入ったとき

6 次の文は、ソフトテニスに関するルールについて述べたものである。正しくないものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a ボールがインかアウトかは、ボールの落下した地点で判定し、ラインに触れたものはすべてインである。
- b サービスでトスしたボールを打たなかったときはレットとなる。
- c ボールがネットポストの外側をまわって相手コートに入ったものはインである。
- d サービスでベースラインを踏んでしまったとき、フォールトとなる。
- e サービス以外でボールがネットポストに触れた後、相手コートに入ったものはインである。

7 次の文は、剣道における「反則」と判定されるルールについて述べたものである。一度で反則負けとなるものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a 相手を不当に場外に押し出したとき
- b 相手を腕でかかえ込んだとき
- c 相手の竹刀を握ったとき
- d 相手に非礼な言動をしたとき
- e 相手に不当な打突をしたとき

8 次の文は、柔道における「指導」と判定されるルールについて述べたものである。正しくないものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a 河津がけを試みること
- b 相手の胴を脚ではさんで絞めること
- c 相手の顔面に直接手をかけること
- d 組み手を切るために、相手の指を逆にとること
- e 立ち姿勢において、相手の足を掴む行為、下穿きを掴む行為をすること

第3問 次の1・2の問いに答えなさい。

1 運動の技能ポイントについて、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、陸上競技の「走り幅跳び」の技能ポイントについて述べたものである。内容として適切でないものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a 助走では、リラックスしてリズムカルに走る。
- b 踏み切りの3～5歩前あたりから助走のリズムを上げる。
- c 踏み切りの直前で膝を深く曲げる。
- d 足裏全体で鋭くかき込むように踏み切る。
- e 着地前に両足をそろえて膝を伸ばしながら足を前に放り出す。

(2) 次の文は、バレーボールの「オーバーハンドパス」の技能ポイントについて述べたものである。内容として適切でないものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a ボールの落下点に移動する。
- b 額の前までボールを引き付ける。
- c 両手を開いて、額の前で三角形をつくり、その間からボールをのぞくような感じ  
でとらえる。
- d 手のひら全体がボールに触れる。
- e 手首のスナップと膝のばねを使ってボールを送り出す。

(3) 次の文は、剣道の「引き胴」の技能ポイントについて述べたものである。内容として適切でないものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a つばぜり合いから、送り足で後ろに下がりながら右胴を打つ。
- b つばぜり合いから、相手が押し返そうとして腕を伸ばすときに引き胴を打つ。
- c つばぜり合いから、開き足で後ろに下がりながら右胴を打つ。
- d 手を返して刃筋正しく打つ。
- e つばぜり合いから、相手が押し返そうとして腕を下ろしたときに引き胴を打つ。

## 2 体育理論について、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、オリンピックに関わることについて述べたものである。文中の(①)～(③)に該当する最も適切な語句の組み合わせを、下のa～eから一つ選びなさい。

オリンピックの創始者クーベルタンは、スポーツによる青少年の健全育成と世界平和の実現を理念として掲げた。この理念を(①)と呼ぶ。そして、(①)を実現するために国際オリンピック委員会が中心となって行う活動が(②)である。そこにはオリンピックの開催やスポーツの普及活動、(③)のほか、世界に向けた休戦の呼びかけ、環境の保全運動などが含まれる。

- |   |                |                |
|---|----------------|----------------|
| a | ① オリンピック憲章     | ② アンチ・ドーピング運動  |
|   | ③ スポーツ・フォー・オール |                |
| b | ① オリンピズム       | ② オリンピックムーブメント |
|   | ③ アンチ・ドーピング運動  |                |
| c | ① オリンピック憲章     | ② スポーツ・フォー・オール |
|   | ③ オリンピックムーブメント |                |
| d | ① オリンピズム       | ② アンチ・ドーピング運動  |
|   | ③ スポーツ・フォー・オール |                |
| e | ① オリンピックシンボル   | ② オリンピックムーブメント |
|   | ③ アンチ・ドーピング運動  |                |

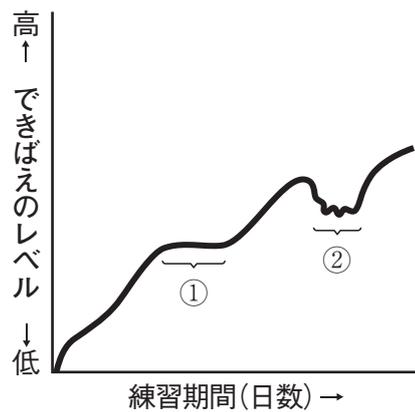
- (2) 次の文は、スポーツの学び方について述べたものである。PDCAサイクルの内容として適切でないものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- 記録をとったり、録画して動きを確かめたりして練習の成果を確かめる。
- 成果に応じて目標や計画を修正する。
- 今ある力を確かめたうえで、目標となる動きを見つけ、練習の計画を立てる。
- 計画に沿って安全に配慮しながら練習する。
- 成果を確かめ、初めに立てた練習計画を長期間変更せずに実施する。

- (3) 次の文は、技能の上達過程について述べたものであり、図はそれを模式的に示したものである。( ① )・( ② )・( ③ )に該当する名称の正しい組み合わせを、下のa～eから一つ選びなさい。 カ

技能がある程度向上すると次のステップに進むまでに一時的な停滞や低下の時期が訪れる。この停滞が( ① )、低下が( ② )である。( ② )の原因としては、身体的要因、技術的要因、用具的要因、心理的要因、練習環境の変化が考えられる。

( 図の名称 ③ )



- |   |        |           |          |
|---|--------|-----------|----------|
| a | ① プラトー | ② スランプ    | ③ 発育発達曲線 |
| b | ① スランプ | ② プラトー    | ③ 練習曲線   |
| c | ① プラトー | ② スランプ    | ③ 練習曲線   |
| d | ① スランプ | ② フィードバック | ③ 発育発達曲線 |
| e | ① スランプ | ② レディネス   | ③ 発育発達曲線 |

第4問 保健について、次の1～4の問いに答えなさい。

- 1 次の表は、適応機制の種類と特徴を示したものである。①～⑤の種類と特徴の組み合わせとして正しくないものを、下のa～eから一つ選びなさい。

	種類	特徴
①	同一化	自分の不得意な面をほかの面で補おうとする
②	昇華	おさえられた性的欲求などを学問・スポーツ・芸術などに向ける
③	合理化	もっともらしい理由をつけて自分を正当化する
④	逃避	苦しくつらい現実から一時的に逃れる
⑤	攻撃	耐え難い事態に直面したとき、子どものようにふるまって自分を守ろうとする

- a ①・②    b ②・③    c ④・⑤    d ③・④    e ①・⑤

- 2 次の文は、ヘルスプロモーションの考え方について述べたものである。正しくないものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a 健康的な政策づくりをおこなう。  
 b 人々の生活の場である地域の活動を活性化する。  
 c 教育などによって、個人が適切な意志決定・行動選択をおこなえるような能力を育てる。  
 d 専門家の支援などの対象を予防や健康増進から問題対処へと方向転換する。  
 e 健康にかかわる環境づくりに住民が主体的に参加する。

- 3 次の文は、捻挫の応急手当について述べたものである。正しくないものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a 圧迫することで内出血や腫れがおさえられるとともに、痛みを感じにくくなる。  
 b 頭部、顔面、頸部を傷めた場合も含めて、できる限り圧迫する。  
 c 冷却することで血管が縮まり、内出血や腫れがおさえられ、痛みがやわらぐ。  
 d 心臓より高くすることで、傷めた部分に流れる血流量を少なくすることができ、内出血や腫れをおさえられる。  
 e 動かすと痛んだり、内出血や腫れがひどくなったりする場合は安静にする。

4 次の文は、ごみ処理の現状と課題について述べたものである。正しくないものを、次のa～eから一つ選びなさい。 

工
---

- a 2016年の時点では、約8割のごみが焼却施設で焼却処理され、最終的には埋め立てられている。
- b ごみを低温で焼却すると、ダイオキシンなどの有害物質が発生する。
- c マテリアルリサイクルは、一度使用して、不要になったものをそのままの形で、もう一度使うことである。
- d 天然資源の消費をおさえ、環境負荷をできるだけ減らした循環型社会の実現をはかることが必要である。
- e サーマルリサイクルは、ごみ焼却の際に発生する熱をエネルギーとして利用することである。

(選択問題 中学校)

第5問 中学校学習指導要領（平成29年3月告示）「第2章 第7節 保健体育」について、次の1～5の問いに答えなさい。

- 1 次の文は、「第1 目標」である。文中の  ・  に該当する語句を、それぞれ下の a～e から一つずつ選びなさい。

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての  の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく  生活を営む態度を養う。

- a 自己      b 現代      c 自他      d 心身      e 生涯

- a 基本的な      b 健全な      c 主体的な      d 豊かな      e 自立的な

- 2 次の文は、「第2 各学年の目標及び内容〔体育分野 第1学年及び第2学年〕  
2 内容 G ダンス」の一部である。文中の  ・  に該当する語句を、それぞれ下の a～e から一つずつ選びなさい。

ダンスについて、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動について、感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、  を捉えた表現や踊りを通じた交流をすること。  
ア 創作ダンスでは、多様なテーマから表したい  を捉え、動きに変化を付けて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊ること。  
イ (略)  
ウ (略)
- (2) 表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。
- (3) ダンスに積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする事、交流などの話合いに参加しようとする事、  に応じた表現や役割を認めようとする事などや、健康・安全に気を配ること。

- a 動きの特性      b 感情      c 曲の特性      d リズム  
e イメージ

- a 役割の違い      b 一人一人の違い      c 作品の違い      d 課題の違い  
e 個性の違い

- 3 次の文は、「第2 各学年の目標及び内容〔体育分野 第1学年及び第2学年〕  
2 内容 H 体育理論」の一部である。文中の  ・  に該当する  
語句を、それぞれ下の a～e から一つずつ選びなさい。

(1) 運動やスポーツが多様であることについて、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 運動やスポーツが多様であることについて理解すること。

(ア) (略)

(イ) 運動やスポーツには、行うこと、見ること、 などの多様な  
関わり方があること。

(ウ) (略)

イ (略)

ウ (略)

(2) 運動やスポーツの意義や効果と  について、課題を発見し、その解決  
を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア (略)

(ア) (略)

(イ) (略)

(ウ) (略)

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| a 応援すること及び知ること  | b 支えること及び知ること |
| c 応援すること及び調べること | d 教えること及び知ること |
| e 支えること及び調べること  |               |

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| a 練習の仕方や体力の高め方  | b 学び方や体力の高め方   |
| c 学び方や安全な行い方    | d 練習の仕方や安全な行い方 |
| e 練習の仕方や効率的な行い方 |                |

- 4 次の文は、「第2 各学年の目標及び内容〔保健分野〕 2 内容 (1) ア (カ)」の部分である。文中の  ・  に該当する語句を、それぞれ下の a～e から一つずつ選びなさい。

(カ) 健康の保持増進や疾病の予防のためには、個人や社会の取組が重要であり、 機関を有効に利用することが必要であること。また、 は、正しく使用すること。

- a 医療                      b 保健                      c 保健・医療              d 福祉  
e 福祉・医療

- a 栄養補助食品          b 医療機器                  c 健康食品                  d 医薬品  
e 健康機器

- 5 次の文は、「第3 指導計画の作成と内容の取扱い 1 (1)」である。文中の  ・  に該当する語句を、それぞれ下の a～e から一つずつ選びなさい。

1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

- (1) 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・ で深い学びの実現を図るようにすること。その際、体育や保健の見方・考え方を働かせながら、運動や健康についての自他の課題を発見し、その合理的な解決のための活動の充実を図ること。また、運動の楽しさや喜びを  , 健康の大切さを実感したりすることができるよう留意すること。

- a 能動的                      b 対他的                      c 協力的                      d 対話的                      e 協働的

- a 味わったり                      b 深く味わったり                      c 十分に味わったり  
d 幅広く味わったり                      e 存分に味わったり

(選択問題 高等学校)

第5問 高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）「第2章 第6節 保健体育」について、次の1～5の問いに答えなさい。

- 1 次の文は、「第1款 目標」である。文中の  ・  に該当する語句を、それぞれ下の a～e から一つずつ選びなさい。

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての  の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく  生活を営む態度を養う。

- a 心身と環境                      b 自己実現                      c 生涯  
d 現代社会                        e 自他や社会

- a 発展的な                        b 豊かで活力ある                c 健全で活動的な  
d より自立的な                    e より主体的な

- 2 次の文は、「第2款 各科目 第1 体育 2 内容 G ダンス」の一部である。文中の  ・  に該当する語句を、それぞれ下の a～e から一つずつ選びなさい。

ダンスについて、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動について、感じを込めて踊ったり仲間と自由に踊ったり、自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを理解するとともに、それぞれ特有の表現や踊りを身に付けて交流や発表をすること。

ア (略)

イ (略)

ウ 現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて  したりして踊ること。

- (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。

- (3) ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、合意形成に貢献しようとする事、  に応じた表現や役割を大切にしようとする事などや、健康・安全を確保すること。

- a 表現を工夫      b 仲間と発表      c 他者と交流      d 仲間と対応  
e 役割を分担

- a 課題の違い      b 作品の違い      c 個性の違い      d 一人一人の違い  
e 役割の違い

3 次の文は、「第2款 各科目 第1 体育 2 内容 H 体育理論」の一部である。  
文中の  ・  に該当する語句を、それぞれ下の a～e から一つずつ  
選びなさい。

(1) (略)

(2) 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解すること。

(ア) (略)

(イ) (略)

(ウ) 運動やスポーツの技能の上達過程にはいくつかの段階があり、その学習の段階に応じた練習方法や  の方法、  方法などがあること。  
また、これらの獲得には、一定の期間がかかること。

(エ) (略)

a イメージトレーニング

b 技術学習

c メンタルトレーニング

d 体力トレーニング

e 運動観察

a 効率的な学習

b 課題の設定

c 戦術学習の

d 目標の設定

e 有効な指導

- 4 次の文は、「第2款 各科目 第2 保健 2 内容 (1) ア (オ)」である。文中の  ・  に該当する語句を、それぞれ下の a～e から一つずつ選びなさい。

(オ)  の予防と回復

の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の  及び社会的な対策が必要であること。

- a 心身症                      b 生活習慣病                      c 感染症  
d 精神疾患                      e 薬物乱用

- a 早期治療                      b 早期発見                      c 予防  
d 理解                              e 根治

- 5 次の文は、「第3款 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い 1 (1)」である。文中の  ・  に該当するものを、それぞれ下の a～e から一つずつ選びなさい。

1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

- (1) 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・ で深い学びの実現を図るようにすること。その際、体育や保健の見方・考え方を働かせながら、運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、その合理的、計画的な解決のための活動の充実を図ること。また、運動の楽しさや喜びを、健康の大切さを実感したりすることができるよう留意すること。

- a 対話的      b 協力的      c 協働的      d 能動的      e 対他的

- a 存分に味わったり      b 幅広く味わったり      c 十分に味わったり  
d 深く味わったり      e 味わったり



